

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	姫路市総合計画策定審議会 第3分科会 第1回会議
2 開催日時	令和元年8月28日（水曜日） 14時00分～16時05分
3 開催場所	姫路市役所 本庁10階 第2会議室
4 出席者又は欠席者名	姫路市総合計画策定審議会委員 第3分科会 委員 11人中 11人 姫路市総合計画策定審議会委員 第2分科会 委員 1人 姫路市総合計画策定審議会参与 5人中 2人
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可（5人） 傍聴人（0人）
6 議題又は案件及び結論等	1 開 会 2 市長公室長挨拶 3 分科会会長挨拶 4 分科会委員紹介 5 分科会の進め方について 6 市政の現状説明 (1) 保健福祉について ○福祉・地域医療について ○保健について (2) こども育成部の主な事業概要について (3) 教育について (4) 質疑応答
7 議事	

(1) 姫路市総合計画基本構想骨子案について

(2) 意見交換

8 連絡事項

9 閉会

7 会議の全部内容又は進行記録

詳細については別紙参照

事務局	1 開会 (14:00)
市長公室長	2 市長公室長挨拶
分科会会長	3 分科会会長挨拶
事務局	4 分科会委員紹介
分科会会長	5 分科会の進め方について
事務局	[説明資料] 分科会の進め方について 資料1
分科会会長	6 市政の現状説明
事務局	[説明資料] 市政の現状 資料2
	(1) 保健福祉について (健康福祉局保健福祉部・保健所)
	○福祉・地域医療について
	○保健について
	(2) こども育成部の主な事業概要について (健康福祉局こども育成部)
	(3) 教育について (教育委員会事務局教育総務部)
	(4) 質疑応答
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で現状の説明は終わった。たくさんの市の分野別計画に基づいて、地域医療、いわゆる対人分野の保健や福祉、子ども育成・教育など、姫路市の行政における、現状と課題と今後に繋がっていくようなことについてご説明いただいた。委員の先生については、日常から非常に興味を持っている分野や、今のご説明の中で耳慣れない分野などもあると思うがいかがか。 ・4分野どこからでも良いので、どの分野の質問かも踏まえてお願いします。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・教育についての検証部分 (資料2「市政の現状」内の「教育について」

<p>事務局（教育総務部長）</p>	<p>1 ページの「2. 姫路市教育振興基本計画（現行計画）の検証（主なものについて）」について質問したい。検証されてここに示されている成果が出たということだが、例えば二つ目の「教職員の I C T 機器やデジタルコンテンツの活用により、わかる授業を推進し、創意工夫した授業改善を図ることができた」と書かれているが、アンケート調査など何かこのような結果に至ったと判断した、エビデンスとまでは言わないまでも根拠材料について教えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、児童・生徒や教員に対して学力調査と併せて、意識調査のようなものを行っており、その項目として一つ取り上げると「I C T 機器を使って資料等の拡大表示をしたり、デジタル機械を活用したりするなど、工夫した授業を週に 1 回以上普通教室で行っている教職員の割合」というデータがあり、小学校も中学校も平成 27 年から 30 年にかけて右肩上がりになっている。 ・ただ、小学校については平成 27 年度 82.1%が 30 年度 87.2%と、もともと高いところから少し上昇している状況だが、中学校については平成 27 年度 38.6%から 30 年度 65.1%と、もとのスタートが低いところから倍増に近く上がってきている。しかしそれでもまだ高くはないので課題が残っているという認識である。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育について、小中一貫教育の推進というところで、今年四郷校区が一貫になったと思うが、大きく何か変わった点はあるか。
<p>事務局（教育総務部長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に義務教育学校になって変わるの、二つの学校が一つになるということで、校長が一人になるので、学校の運営、意思決定に際しての判断が早くなる。また、1 年生から 9 年生まで 9 年間を見据えた教育カリキュラムになる。また、教職員が小学校・中学校で行き来することができるようになるため、義務教育学校ならではの教育課程を編成できるのが大きな特徴である。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病対策（資料 2 「市政の現状」内の「保健福祉について (2) 保健につ

	<p>いて」6ページの「I. 精神保健福祉対策」で、自殺者が年間約2万人という数値が挙げられているが、3万人くらいずっとあって平成15年が最高で、平成27年でも2万4000人くらいある。これはどのような統計によるものか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、こども支援課および教育委員会に関係するが、子どもの生活実態調査に関する記述が全く無いのはなぜか。 ・教育の機会均等の項目（資料2「市政の現状」内の「教育について」3ページの「ウ 教育の機会均等」）で、「子供の貧困率については、改善が見られるが」とのことだが、もう少し具体的なデータを教えてほしい。 ・同項目の中で未就学者数の統計が平成22年の国勢調査になっているが、平成27年の結果はどうなっているか。 ・子どもの生活に関する実態調査において、貧困家庭における学力格差について、非常に厳しい結果が出ていることとの関連を教えてほしい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の5点の質問について回答をお願いします。
事務局（教育総務部長）	<ul style="list-style-type: none"> ・先に、教育の子どもの貧困率のデータについて、厚労省の平成28年のデータで、2012年が16.3%から2015年が13.9%と2.6ポイントの改善があったというのが国のデータである。未就学者数について、平成27年国勢調査のデータは今持ち合わせていないので答えられない。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・また新しいデータは、確認してご検討いただく。
事務局（こども育成部長）	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に関する実態調査については、資料内（資料2「市政の現状」内の「こども育成部の主な事業概要」4ページの「9. 子ども・子育て支援事業計画の改定」）で少し触れているが、昨年度実態調査を行い、昨年度末に分析を行った。今年度はその調査結果をもとに、庁内、庁外の関係者も含めて、ワーキンググループでその調査結果に対してどういう施策が必要なのか、施策の方向性について現在検討しているところである。同項目において「ひとり親家庭の自立支援や子どもの貧困対策等についても施策体系に盛り込む」と書かれている。現行の計画では子どもの貧困問題について

	<p>触れていないので、子どもの貧困対策についても、次期計画においては盛り込んでいきたいと考えている。</p>
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を分析されて、それを踏まえて今後の事業計画を検討される予定ということである。
事務局（保健所副所長）	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺者2万人の根拠について、保健衛生年報 平成30年度版（29年度実績）から引用した部分であるが、概数的な扱いで載せている。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・短い時間で多様な行政の中身を資料化していただいているので、ご意見等いただくとところがあるかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜこのような質問をさせていただいたかという、障害者の立場で話をさせていただくと、特に社会的に弱い立場に置かれている子どもたちの中で、障害のある子どもがどのくらいの割合でいるのか。例えば、身体障害者数は減っているが、精神障害者数と知的障害者数は増えている。そういったところでの障害者（児）の状況、配慮についても今後考えていかなければならないと思う。障害者自身が高齢化してきている。その中で子どもたちの姿があまり見えず、具体的に実態を把握する必要があると考えているため、関連して質問した。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・生活実態調査のアンケートの件が出たが、小学校6年生と中学校3年生への学力テストが行われていると思うが、そのときに子どもたちへのアンケート調査も行われている。それと、この姫路市の生活実態調査のアンケートに重なるところはあるのか。 ・また、授業改善が図られたことは検証されているというが、それが学力向上に結びついているのか。姫路市の児童・生徒の学力の実態と授業改善についての関連について、データなどがあれば教えてほしい。
事務局（教育総務部長）	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省の行っている学力・学習状況調査と姫路市の実態調査に重なりがあるかについてであるが、子どもの生活に関する実態調査は、主に子ども

	<p>の貧困対策についてどのような施策が必要なのかといったニーズを把握するための調査であり、小学校5年生と中学校2年生から抽出した保護者の方と児童・生徒が対象である。学力についての問いはほぼしていない。一部「学校の授業は楽しいか」といったものはある。他は、経済的な問題、家庭の状況の問題といった内容のアンケートである。</p>
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省の学力テストにともなっている意識調査の中で、たとえば、朝ごはんの有無などの項目がある。姫路市の生活実態アンケートはそのような生活習慣などの項目も全く重ならないのか。
事務局（こども育成部長）	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べているかといった項目はある。
分科会副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・文科省がされている結果とそちらの部局での結果との相関を見るとか、そこに新しい推察、考察があるといったことはないか。
事務局（こども育成部長）	<ul style="list-style-type: none"> ・それについては今後の検討になると思うが、今回やった姫路市の調査は「子どもの貧困対策に関する大綱」に基づいた調査で、厚労省の補助金を利用した調査である。教育委員会の調査との関連性まではまだ考えられていない。ただ、実態調査を踏まえたワーキンググループの方では、教育委員会、関係機関も入って子どもの貧困対策について議論することになっている。
事務局（教育総務部長）	<ul style="list-style-type: none"> ・もう1点質問いただいていた、学力の状況についてだが、資料（資料2「市政の現状」内の「教育について【参考資料】」5ページ）にある。小学生と中学生それぞれ県・国と比較している結果で、数値的には同等か少し劣る程度の結果で、大きく全国と差があるという認識ではないが、比較するといくらかは低い。授業改善の方は常日頃、学校などと連携しながら進めているが、学力はこのような状態である。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この分科会は、11名の委員が、共通理解を深めながら進めていくところである。現在、教育分野に質問が集まっている。他の分野はいかがか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児の受け入れのために大変な思いをされているかと思うが、無償化等、国の方針が変わってきていて、保護者にとってはとても嬉しい事だと思うが、現場ではとてもご苦労があると思う。 ・保育人材確保（資料2「市政の現状」内の「こども育成部の主な事業概要」3ページの「3 保育人材確保事業」）のところで、何年か前に「保育士・保育所支援センター事業」というのが行われて、保育士不足の解消に向けて、ご苦労されてきたかと思う。過去何人くらいの相談があって、何人くらい定着があったといったデータはあるか。
事務局（こども育成部長）	<ul style="list-style-type: none"> ・今データは無いが、支援センターの方で潜在保育士の方から相談があって就職に繋がったのが、平成29年初年度で25名程度が実際の就職に繋がっている状況である。支援センターだけではなく、昨年度においては、定着一時金の給付や、住居借り上げの支援などの事業を補正予算で確保し平成30年1月から実施しており、今年度も4月に、新規採用の保育士等から申請を受けて一時金等の支給を行う予定である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士応援プロジェクトを色々やっていただいて、みんなで力を合わせて取り組むことができているが、今後ともよろしく願います。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・保健、福祉、教育、子育てはどの分野も、人の確保が課題であると思うので、行政が色々ご苦労なさるところだと思う。公募委員の方、ご質問等いかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者の確保（資料2「市政の現状」内の「(1) 福祉・地域医療について」10ページの「2 医療従事者の確保」）について、医師不足と言われて、臨床研修医奨励金事業は何年か前にできているが、これを利用してドクターは増えているのか、それとも計画だけで進んでいないのか。
事務局（保健福祉部長）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度で前期が7名、後期が23名となっていて、推移としては横ばいになっている。

<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路市は、医師の数が人口に比べて少ないということが言われている。今の前期が7名、後期が23名というのは多い。非常に事業としては成功しているのではないかと思う。こういう人が、どこの医療機関で働くかは市で決めるのか。
<p>事務局（保健福祉部長） 分科会会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そういった誘導はしていない。 ・他はいかがか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先日幼稚園の先生が、幼稚園がなくなるという話をされていた。1学年10数人で4歳と5歳とを合わせても22人などと少ないため、幼稚園が無くなるのではないかと危惧されている。資料中（資料2「市政の現状」内の「こども育成部の主な事業概要について」5ページの「10 幼児教育・保育の無償化に向けた対応」）に3歳児を幼稚園に入れると書いてあったが、それを早くやってもらえれば良いと思う。東幼稚園がなくなって城東幼稚園と合併してそれでも10数人になっている。少子高齢化で子どもが少ないのであれば3歳児を入れれば少し増えるのではないか。
<p>事務局（教育総務部長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在、城東幼稚園が今後どうなるという話はない。モデル事業として充実しているところがあり、次の4月からは合計8園で3歳児を受け入れる。こども育成部でニーズ調査を行っていて、市立幼稚園でもやらないといけないということでやろうとしている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それはどこでやられるのか。私の住んでいる夢前町の置塩幼稚園は次に入るのが1人とかになっている。廃園ということはないだろうと思うが、近々に休園になることは考えられる。地元では6年くらい前に、別の幼稚園がなくなって置塩幼稚園に吸収されている。小学校の児童数も減っており、受け皿が無くなることで地元から外に人が流出してしまうのがとても怖いと思っている。 ・ニーズ調査の数字だけでなく、どこに何が必要なのか、紙面で見た数字

事務局（教育総務部長）	<p>だけでなく地元の声をもっと吸い上げていただきたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し補足をさせていただく。こども育成部でニーズ調査をしたが、それは市内を13ブロックに分け、ブロックごとでどれくらいニーズがあるかという調査になっている。ブロックごとに受け皿の不足するところを特定して、その中で実施園を決めていっている。夢前町の幼稚園は、予定としては3歳児受入れの園に入っていない。地元のご意向も踏まえて考えていきたいと思っている。
市長公室長	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査は幼児教育・保育の無償化に関して3歳児の利用ニーズを調査したものであり、幼稚園そのもののニーズとはまた違うので、そこはご理解いただきたい。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なご意見があるかと思いますが、次に進めます。
分科会会長	<p>7 議事</p> <p>(1) 姫路市総合計画基本構想骨子案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>[説明資料] 基本構想骨子案 資料5-1～資料5-4</p>
分科会会長	<p>(2) 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・10年後を目指してというところであるが、今日ご説明をいただいたのは現状である。私たちの使命を考えながらご意見をいただきたい。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・この第3分科会で健康福祉が五つ、教育が三つという数の政策を練っていくことになっているが、教育は幼稚園から小学校、中学校、高校と特別支援学校の範囲で、子育て支援は健康福祉のところに入ると考えて良いのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援は健康福祉で議論いただこうと考えている。

分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の三つの政策については、現時点で、学校教育、生涯学習、文化財の保存・継承、の三つを考えている。 ・事務局の方からは、進捗状況を見極めながら情報提供をしていただけていると思っている。
参与	<ul style="list-style-type: none"> ・教育分野は色々な会議に入らせていただいているので今日説明を聞いた部分については頭に入っているつもりである。また、医療の部分で、骨子案の話からは外れるが、姫路市の医療は休日夜間救急で、今は近隣市町からも受け入れているというところだが、今後もきちんと維持されていく方向を考えるべきだと思っている。 ・また、基本構想の骨子の部分は基軸になる大事な部分だが、各分科会の中で文言も含めて議論されていくと思うので、他の分科会の意見なども共有していただけたら参考になると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・他の分科会の意見は分科会終了後、議事録を作成して委員へお送りさせていただきたいと思っている。また、正副会長会議などの場を通じて情報共有していきたいと思っている。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子案は全体会でもご説明いただいたので、各委員もお目通しいただいている状況かと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・少し話がずれるかもしれないが、私の周りで姫路市・加古川市・高砂市に友達がいる、それぞれの娘さんがみなさん結婚することになった。その3人の娘さん達は明石市に行くという。なぜかと聞くと、3人とも明石は子育てがしやすい街なのでということであった。10年後に51.8万人を目指すと書いてあるが、姫路になくて明石にあるものは何か、子育てで比べたときに何があるのか。10年後に負けないように、新婚夫婦にぜひ来てもらわないといけない。
分科会会長	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣地域と手をつなぎながらも核となる姫路市がどうしていくべきかと

事務局	<p>いう市民の目線が加わると思いますので、しっかりと議論していきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・時間の関係もあるので、意見は締めさせていただいて、事務局に戻す。 <p>8 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none">・今後の日程等、連絡 <p>9 閉会 (16:05)</p>
-----	---